2013－2014年度版追加・変更点一覧

作成日:　2013年4月25日
作成者:　久　高　健

No.	2011-2012版		2012-2013版		内容	変更・追加理由	備考
	ページ	条	ページ	条			
1			34	805	③へ「もしくは、ファールされずにボールに触れた後、ボールがコート等に接したとき。」の記述が追加 ④へ「もしくは、ファールされずにボールに触れた後、ボールがコート等に接したとき、最初に当てられたプレイヤーがアウトの対象となる。」の記述が追加	キャッチが成立していなくてもアウトの記述がなかったため追加	
2			38	812	3）の記述追加	816条より移行	
3	41	816			2）の記述削除	812条へ移行	
4			54		副審の動作へアドバンテージ追加	平成24年中央研修会より	
5			70		副審　3）へ「尚、ジャンパーの選手番号確認は～」追加		
6			77		《例3》の《処置》 ～相手内野プレイヤーはセーフ。「この場合、当該～計時もアウト確定まで戻る。」追加		計時も？
7	79		79		2011-2012年度版の《例1》～《例3》は削除。 〃　《例4》～《例5》が 2013-2014年度版の《例1》～《例2》に繰り上がった。	テキストブックのイリーガルキャッチの説明P96と重複しているため	
8			80-81		3）を追加	協議の結果アウトとなり外野プレイヤーが復帰する際の配慮を入れた。	
9	82		81		4）の説明の中でジャンプボールのやり直しの3つの条件を削除	第814条の説明と重複しているため	
10			83		④を追加	P80-81の追加に合せて	
11	106		105		3）が削除 イリーガル・スローによるアウトの場合のアドバンテージと主審の動作（セーフ・続行）の文書が削除	P95のイリーガル・スローの説明と重複	
12			112		③が追加		
13	120-122				実技統一事項 ・実技（シャドーイング）について ・ジャンプボール及びやり直しの手順 ・ヘッドアタック時の手順　が削除	説明重複のため	
14			118-122		実技統一事項及び統一基本動作 ・実技統一事項 ・統一基本動作　1．～6．まで追加	平成24年中央研修会より	
15			122		7．～10．警告、退場、失格、指導 ・全審判員＜6審＞で協議。主審はコートマスターへ報告する。 ・「協議の結果～　の追加・変更	平成24年中央研修会より	
16			126		11．不完全となった場合 ・全審判員＜6審＞で協議。～ ・「協議の結果～ ・プレイヤー及びペナルティベンチ～　の追加・変更	平成24年中央研修会より	
17			129		ヘッドアタック時の報告が変更（簡略化）	平成24年中央研修会より	